

茅ヶ崎ボランティアだより

令和7年11月1日
第168号

編集・発行：茅ヶ崎ボランティア連絡会
茅ヶ崎市新栄町13-44 茅ヶ崎市社会福祉協議会内
TEL: 0467-85-9650 FAX: 0467-85-9651
URL: <https://cvla1980.net/>



HPは
こちらから



第45回 ボランティアまつり 福祉バザー 入場無料

練習室 4

車いす体験
10時～13時



展示室

点字体験
10時～13時



練習室 1

紙芝居
10時30分～11時
マジック
11時～11時45分
手話ダンス
11時45分～12時30分



展示室

福祉バザー

10時～13時
植木、衣料、食品、雑貨、作業所作品、
はちみつ、手作り品、布おもちゃ

練習室 2

マッサージ・干し芋販売
10時～13時



アンケートに
ご協力いただいた方に
プレゼントあり



日時：令和7年11月22日（土）10時から13時

会場：茅ヶ崎市民文化会館 展示室・練習室

内容：《福祉バザー》《福祉体験》《ボランティア相談》

《アトラクション》《マッサージ》

バザーの収益金はボランティア活動資金に活用させていただきます。

内容は変更になる場合があります。

お気軽にご来場ください！お待ちしております。

共催：茅ヶ崎市社会福祉協議会・茅ヶ崎ボランティア連絡会 後援：茅ヶ崎市

With A Coordinator

こーでいねーたーのページ

こんにちは。ボラン
ティアセンターの鶴巻
です。

今年の夏は本当に暑
かったですね。ボラン
ティア活動も大変だっ
たと思います。汗を拭
きながらボランティア
ルームに來られる方に
も「暑い中お疲れ様で
す。」が定番のご挨拶
でしたね。この便りが
発行されるころには涼しい秋が訪れ
ているはずと想像しながらうちわを
片手に原稿を書いています。

今年の夏、私にとってちょっとした
苦い出来事がありました。ある日、ス
マホの電源が入らなくなったのです。
困った！連絡手段はどうしよう？スケ
ジュール、地図、金融関係、目覚まし
アラーム…。普段どれほどスマホに依
存して生活していたのか思い知らされ
ました。バックアップを取っていな
かったことを後悔し、心は常にざわざ
わ、不安な状態が続きしました。当たり
前のようにしていたことが急にできな
くなり生活に支障が出る。今回のこ
とは命に関わるほどのおおげさなこと
ではありませんが、震災に突然遭われ
た方の気持ちがわかった気がしました。
修理で戻ってきたものの、データや大
切な写真も全て消え、最低限の状態に
するまで労力と時間を費やしました。
万一の時のために、「何事も備える準
備が大切」と痛感した出来事でした。

ボラ連と各グループの活動状況

ボラ連 活動状況

- ★6月10日 令和7年度第1回茅ヶ崎市社会福祉協議会
理事会 廣田会長
- ★6月26日 令和7年度第1回茅ヶ崎市社会福祉協議会
定時評議員会 石井会計
- ★6月26日 令和7年度第2回茅ヶ崎市社会福祉協議会
理事会 廣田会長
- ★7月16日 令和7年度第1回茅ヶ崎市障がい者保健福祉
計画推進委員会 廣田会長
- ★7月28日 令和7年度第1回茅ヶ崎市生活支援体制整備
事業第1層協議会 石井会計
- ★8月20日 令和7年度第1回茅ヶ崎市地域福祉活動計画
推進委員会 岡田書記

各グループ

- ☆茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団
- 6月4日 東海岸小学校 4年生4クラス 点字体験
- 6月25日 円蔵中学校 2年生103名 点字体験
- ☆介護ボランティア ポテトの会
- 5月21日 アレセイア湘南中学校 1年生61名 車いす
の基本的な扱い方体験
- ☆布えほんグループ コスモス
- 3月11日 浜須賀小学校 なかよし級 依頼作品の寄贈
- 4月30日 小出小学校 支援級 寄贈作品の確認と
挨拶
- 5月21日 茅ヶ崎市立図書館 定期補修、在庫品の点
検・修理
- 6月4日・11日 茅ヶ崎市立図書館 各日10名 制作
講習会
- 6月24日 香川小学校 かおり級 新規寄贈

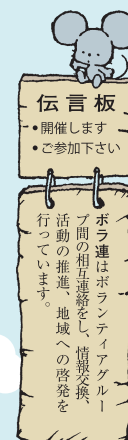
☆茅ヶ崎誘導グループ 草笛

5月7日 アレセイア湘南中学校 1年生61名 アイ
マスク・誘導体験

6月4日 東海岸小学校 4年生 128名 アイマ
スク・誘導体験

☆手話サークル茅の会

6月25日 円蔵中学校 2年生103名 手話体験学習
8月20日 海岸地区こどもの居場所プロジェクト（うみ
かぜテラス）小1～小6 45名 手話体験、
クイズなど



ボランティア連絡会パネル展

日時 11月13日（木）15時～11月20日（木）14時
場所 イオン茅ヶ崎中央店 1階中央出入口横
ボラ連所属の各グループの紹介パネルを展示します。
どうぞご来場ください！

編集後記

茅ヶ崎ボランティア連絡会は1980年に発足
し、ボラ大・ボラまつりをはじめ様々な活動を通し
て所属グループが相互協力・情報交換を行っていま
す。その結果グループ単独では難しいことも、他グ
ループにヒントをもらったり一緒に交渉に臨んだ
り、連絡会という組織の強みを生かすことで実現し
てきました。ご一緒に活動してみたい団体さんは、
ぜひボランティア連絡会のHPをのぞいてみてくだ
さい。

（編集担当 書記 松本）

2025年ボランティア大学を振り返って

茅ヶ崎ボランティア連絡会 副会長 平岡 美智子

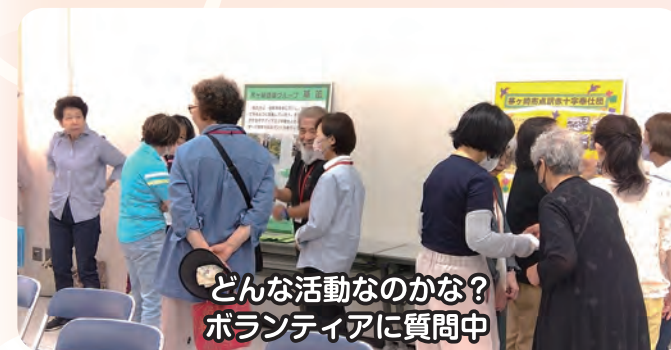
3月3日に申込受付を開始し、58名の申し込みがありました。（キャンセル5名）今年も例年通り連休明けの5月9日～6月20日の毎週金曜日（全7回）の予定で2025年のボランティア大学が始まりました。

第1日目の牧岡先生の「ボランティア活動とは」に始まりボランティア連絡会会員グループの活動紹介、体験学習（車いす・誘導・録音・手話・点字・要約筆記等）や様々な障害をお持ちの当事者体験談、昨年のボラ大修了者の体験談等、盛り沢山の内容で無事終了しました。

基礎コース終了後は各グループ選択コースへ進む方37名、個人ボランティア12名とそれぞれのコースに進まれました。体験の時間が短い等のご意見もありましたが、ボラ大はボランティアの入口です。今後長く活動を続けられる事を期待します。

ボランティア大学修了生の各グループ入会者 計27名

茅の会	虹	点奉	録奉	なかま	草笛	ポテト	ボラ香川	小さな手	コスモス	松の会	フレンズ
1名	1名	5名	3名	2名	5名	3名	1名	3名	3名	0名	0名



ボラ大5日目の当事者体験談にご登壇された「虹」平本さんにご寄稿いただきました

中途失聴・難聴者の困りごと

筆記通訳サークル「虹」平本 滋

私は幼少時に左耳を失聴しました。私は現在63歳ですが、右耳は今から約40年前に突発性難聴に見舞われ、聴力が悪化しました。その頃から右耳には補聴器を装着しています。身体障害者手帳は、6級です。人生の途中で聴力が悪化、または失聴してしまった聴覚障害者を中途失聴・難聴者といいます。中途失聴・難聴者は日常生活の中で、言葉の聞き間違い、複数人の会話や騒音下での聞き取りが困難など、補聴器を着けていても聞き取りが困難な場面が数多くあります。

そもそも補聴器は、静かな環境で一对一の会話がハッキリ聞き取れるように作られているものの、補聴器を着ければどんな場面でも全ての音声聞こえる、という訳ではありません。難聴は、見た目では分かりづらい障害なので、難聴者一人ひとりが、自分の聞こえづらさを周囲にアピールしていくことが、何より肝心です。

私たちには、筆談や要約筆記、音声認識アプリといった文字情報も大変ありがたいものなのですが、音声情報も必要です。なので、健聴者（聞こえる人たち）には、できるだけ口元を見せてゆっくりハッキリ話して頂くことや、身振り手振りを交えて話して頂くなど、その場面ごとに必要なお願いをしています。もし、聞こえに困っている難聴者に遭遇された際には、ご面倒様でも笑顔で対応して頂けるとありがたいです。

茅ヶ崎市社会福祉協議会との意見交換会

茅ヶ崎ボランティア連絡会 書記 岡田 善司

茅ヶ崎ボランティア連絡会（ボラ連）は発足当初から、茅ヶ崎市社会福祉協議会（市社協）と協同で事業を行なってきましたが、この関係を維持、より強くするために両者で話し合う機会（場）を設けています。その一つの市社協とボラ連の意見交換会が酷暑の中8月4日（月）にさがみ農協ビルの4階ボラ連ティアルームで開催されました。

ボラ連の運営は輪番制で構成団体から選出された役員により、主体的に進められています。構成団体からは10年間で役員を6年間選出する現状は負担が重く、改善を求める声が多数寄せられ解決の話し合いが継続している状況です。今回の意見交換会は、市社協を交えて解決に向けた話し合いを行いました。

10年間で役員を6年間選出する現状の解決策としては、構成団体を増やして輪番制の順番が回ってくる間隔を伸ばすこと、構成団体の構成人数を増やすこと、のふたつが考えられます。話し合いを始める前に、発足時から現在までの構成団体総数と構成団体の総人数、および分野別構成団体数の推移を役員から示しました。表は分野別構成団体の推移で、社会保障制度の充実により、ほか分野の団体は市内の地域に活動が移していると推測されるなどを共有し

表 分野別構成団体の推移

分野	構成団体総数		
	発足時 (1981年)	20周年 (2000年)	現在 (2025年)
視覚	3	4	4
聴覚	2	5	4
介護	5	4	3
他	2	5	1
計	12	18	12

解決の具体策についていろいろな意見が出されました。たとえば、構成団体を増やすにはボラ連に加入するメリットの案内資料を作成、市内のボランティア団体に紹介する。構成団体の構成人数を増やすには、市社協と協働で開催しているボランティア大学は市内でボランティア活動を目指す人が受講するので、今までは違った講座内容の検討が必要との意見が出されました。また、役員の任期を現状4年間を、2年間にできないかとの意見も出しました。役員はこれらの意見をまとめ来年度、役員選出の負担を軽減した体制でスタートできるように検討を進めて行きます。

たんぽぽ ボラ連の仲間の活動状況です

茅ヶ崎録音奉仕会は1977年に目の不自由な方々のために茅ヶ崎市の広報紙をお読みしようと始まった音声訳ボランティアです。現在は「広報ちがさき」「市議会だより」「社協ちがさき」の音声版製作、新聞雑誌の様々な記事をセレクトした録音雑誌の製作などを中心に活動しています。なお昨年10月からは「広報ちがさき」音声版が市HPにアップされています。製作にあたっては録音用ソフトを使ってパソコンで録音し、CDで利用者の皆様にお送りしています。昨今は、ITの進歩に伴いAIと共存する形でその技術を取り入れていくことも必要になってきており日々研鑽に励んでいます。

この度、市社協の推薦をいただき（公財）鉄道弘済会並びに（福）日本盲人福祉委員会より「朗読録音奉仕グループ奨励賞」を受賞いたしました。これは、長年音声訳を通して地域の視覚障害者の方々のために貢献してきたこと、また録音奉仕者の養成・研修などに積極的に取り組み今後もより一層の活動が期待できるグループであることが評価されたものです。会員一同この受賞を励みにしてさらに良い音声訳をお届けできるようにと思いを新たにしています。

視覚障害者にとって録音図書は重要な情報源ですがそのほとんどは全国のボランティアによって製作されています。茅ヶ崎録音奉仕会も、製作した録音図書を国立国会図書館に提供しています。読むことが困難な方の目の代わりとなって音声で情報を伝える「音声訳」をより多くの方に知っていただき活用していただければと思います。

茅ヶ崎録音奉仕会 会長 大村 美佐



茅ヶ崎録音奉仕会

